

第2学年1組 国語科学習指導案

日時:令和6年10月18日(金)2校時

場所:浜田市立松原小学校 2年1組教室

1 単元名 「どうぶつカード」をつくろう

東京書籍2年下

2 学級 松原小学校 2年1組 17名

3 単元づくりの構想

本単元で付けたい力

- ①調べたことを分かりやすく書く力
- ②調べたことを友だちに分かりやすく話し、感想を伝え合う力

情報活用能力指導の観点・系統性

※アルファベットは「松原小学び方指導体系表」より

○情報の整理

g 参考図書を利用する

図鑑を使い、目次や索引で調べたいことを選ぶ。

○情報の整理

k 情報を手元に置く

付箋に短い言葉や文を書き、ワークシートに貼っておく。

○表現・共有

n 発表・交流

相手に分かりやすく話し、感想を伝える。

単元の特質

本単元の重点指導事項は、学習指導要領の内容「B書くこと」(1)アである。興味をもった動物について、図鑑等を読み、紹介したい「動物のひみつ」を探しながら、「どうぶつカード」作りをし、友だちと交流するという言語活動を設定した単元である。友だちと交流することは、本で調べる楽しさを味わうだけでなく、相手意識や目的意識を醸成する上でも有意義である。

本単元は、直前の説明文単元「ビーバーのひみつをつたえよう」において付けたい力(重要な語や文を探して読み、まとめ、伝える力)、「本でしらべる」で付けたい力(図鑑で調べ、必要な情報を集める力)を活用することをねらう。

本単元に関わる子どもの実態

児童は、「書くこと」の「情報を発信する」学習として、1年生「のりものカードをつくろう」において、本で調べる学習に取り組んでいる。2年生2学期、「ビーバーのひみつをつたえよう」において、重要な語や文を探して読み、まとめ、伝える学習をし、さらに、図鑑で調べ、必要な情報を集める学習をしてきた。言葉の力の定着については個人差があるが、多くの児童が動物についての興味関心をもっている。

要約学習を通して、児童は、大事なことを落とさずに聞き、話の内容を捉えて、分かりやすく話す力をつけてきた。さらに、生活科「まちたんけん」でのインタビューを通して、メモの書き方に取り組んだ。今後、重要な語(キーワード)を捉える図式化の学習につなげていきたい。

4 研究の重点とのかかわり

(1) 視点1 情報活用能力の系統的指導

情報の整理の仕方～「松原小学校学び方指導体系表」とのかかわり～

本単元では主に「情報の整理の仕方 k情報を手元に置く」の観点を取り上げる。知りたいことについて、本で調べたことを付箋にメモをし、ワークシートに貼っておく。そのワークシートをもとに、「どうぶつカード」を作成していく。

(2) 視点2 要約学習の実践

本単元で付けたい力②「調べたことを友だちに分かりやすく話し、感想を伝え合う力」をつけるために、要約学習で身に付けた力を活かす。話し手は、ワークシートをもとに分かりやすく話すようにする。また、聞き手はワークシートも見ながら、大事なことを落とさずに聞く。これは、「松原小学校学び方指導体系表 発表・交流」ともかかわる。

(3) 視点3 言語活動、言語環境の充実

本単元に先行する「ビーバーのひみつをつたえよう」から学級に動物に関する図書資料を集めたブックトラックを置き、学校司書によるブックトークを行い、並行読書をしていく。また、本単元では、前単元「本でしらべる」で使用した図鑑「学研の図鑑 動物のくらし」を各自が手元に置き、子ども自身で紹介したい動物について選ぶことができるようにする。

5 単元の目標

(1) 長音、拗音、促音、助詞や句読点、片仮名、漢字などを文や文章の中で正しく使うことができる。

【知識および技能】(1)ウ

(2) 目的に応じて資料を活用し、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にして書くとともに、調べたことを友だちに分かりやすく話したり、大事なことを落とさずに聞き、感想を伝えることができる。

【思考力、判断力、表現力等】B(1)ア、オ

(3) 進んで知りたいことを調べ、学習の見通しをもって、「どうぶつカード」にまとめようとするとともに、友だちに分かりやすく話したり、友だちの説明のよさについて感想を伝えようとする。

【学びに向かう力、人間力等】

6 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
長音、拗音、促音、助詞や句読点、片仮名、漢字などを文や文章の中で正しく使っている。	① 目的に応じて資料を活用し、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にして書いている。 ② 調べたことを友だちに分かりやすく話したり、大事なことを落とさずに聞き、感想を伝えている。	進んで調べ、「どうぶつカード」にまとめようとしている。 友だちに分かりやすく話したり、友だちの説明のよさについて感想を伝えようとしている。

7 単元の指導計画 (全8時間)

次時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
第一次 1	<p>○単元のねらいを知り、学習方法を考え、学習の見通しをもつ。</p> <p>○めあてをつかむ</p> <p>「どうぶつカード」を作って、しょうかいしよう。</p>	<p>○ねらいと言語活動の内容を具体的に示し、学習の見通しをもつことができるようにする。</p>	
第二次 2 3 4 5 6	<p>○図鑑で、自分が紹介したい動物や紹介したいことを考える。</p> <p>・目次や索引を使って調べ、本の必要なページに付箋を貼る。</p> <p>○図鑑を読んで、紹介したいことを選び、整理する。</p> <p>①大事なことを付箋にメモする。 ②ワークシートに貼る。 ③友だちと交流する。</p> <p>○「どうぶつカード」で紹介することを選び、カードを作る。</p>	<p>○必要な事柄を集めたり確かめたりすることができるように、必要なページに付箋を貼るようにする。</p> <p>○要約学習の系統性を意識し、以下のことを指導する。</p> <p>・付箋メモに大切な事柄を短い言葉で書く。(→キーワード) ・ワークシートへの付箋メモの貼り方(→図式化) ・ワークシートを聞き手に提示して伝える。(→文章化)</p> <p>○友だちの感想を踏まえて、「どうぶつのひみつカード」を作るようにする。</p> <p>○文表表記を確認することで、正しい文章表記をできるようにする。</p>	<p>【思考・判断・表現①】 付箋メモ・ワークシート 必要な事柄を取り出して、付箋にメモをし、ワークシートに貼っているか、内容の確認</p> <p>【思考・判断・表現②】 観察 ワークシートの事柄をもとに話したり、聞いて感想を伝えたりする様子の確認</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】観察 進んで知りたいことを調べ、「どうぶつカード」にまとめようとしている様子の確認 分かりやすく話したり、感想を伝えようとする様子の確認</p> <p>【知識・技能】 観察・ワークシート 文章が正しく表記されているかの確認</p>
第三次 7 8	<p>○「どうぶつカード」を学級で紹介し合い、感想を共有する。</p> <p>○単元の学習を振り返る。</p>	<p>○「どうぶつカード」を紹介し合うことで、お互いのよいところを知るようにする。</p> <p>○本単元を通して、できるようになったこと、頑張ったことを振り返ることで、付けた力を確認できるようにする。</p>	<p>【思考・判断・表現②】 観察 「どうぶつカード」を紹介し、聞いて感想を伝えたりする様子の確認</p>

8 本時の指導 (4/8時間目)

(1) 本時のねらい

図鑑を読み、「どうぶつのひみつ」について、付箋にメモをし、ワークシートにまとめることができる。

【思考力、判断力、表現力等】B(1)ア

(2) 本時の展開

学習活動	教師の支援 【評価】
<p>1. 本時のめあてをつかむ。 前時で学習したメモやワークシートの書き方について確認する。</p>	<p>・友だちに「どうぶつのひみつ」について紹介するために、短い言葉でのメモや図式化したワークシートを作ることの必然性をもち、学習の見通しをもつことができるようにする。</p>
<p>ずかんを読んで「どうぶつのひみつ」について、メモをして、ワークシートにまとめよう。</p>	
<p>2. 図鑑を読み、紹介したいことを付箋にメモをし、ワークシートに貼る。</p>	<p>・メモの書き方を確認し、大事なことを短い言葉で付箋メモに書くように支援する。(個別支援) ・要約学習の図式化の仕方を確認し、ワークシートに付箋メモを貼るように支援する。(個別支援)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・判断・表現①】付箋メモ・ワークシート 必要な事柄を取り出して、付箋にメモをし、ワークシートに貼っている。</p> </div>
<p>3. 友だちと紹介し合う。</p>	<p>・分かりやすく伝えることができるように、ワークシートを聞き手に提示したり、聞き手を見て伝えたりすることができるように伝える。 ・聞き手は、興味をもったことなどを具体的に感想として伝えるようにし、話し手が「どうぶつカード」に取り上げる際のアドバイスとする。</p>
<p>4. 全体に発表する。</p>	<p>・次時のワークシートに文章で表す際のモデルとなるように、数名の児童に発表を促し、伝えたいことを絞り込む。</p>
<p>5. 学習を振り返る。</p>	<p>・本時の学習を振り返り、本時の学びを実感できるようにし、次時の学習の見通しをもつことができるようにする。</p>

(3) 本時の評価

十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	支援を要する状況への手立て
<p>大事な事柄を取り出して、付箋に端的にメモをし、構成を考えてワークシートに貼っている。</p>	<p>大事な事柄を取り出して、付箋にメモをし、ワークシートに貼っている。</p>	<p>・大事な事柄の取り出し方を支援する。 ・付箋メモの書き方やワークシートのへの貼り方を支援する。</p>

9 考察(成果・課題)

本の選定

本単元の言語活動では、「どうぶつカード」を作って紹介することを設定した。その前単元「本でしらべる」で付けた力(図鑑で調べ、必要な情報を集める力)を活用するにあたって最適な図鑑である「学研の図鑑 どうぶつの暮らし(学研)」を児童一人一人が手元に置くこととした。本図鑑は、前単元で使用されている図鑑であること、また、全員が同じ図鑑を読んでいることから、ポイントを押さえた指導がしやすく、児童もねらいに迫る活動ができた。

しかし、情報を広範囲から収集するという点では課題があることから、学校司書による動物の本のブックトーク、動物に関する図書資料のブックトラックなどで情報を広げた。

情報の活用

図鑑の中から自分が紹介したい動物を決め、その体の各部の説明やコラムから、自分が見つけた「ひみつ」について、キーワードを取り出して付箋にメモをし、動物ワークシートに貼った。キーワードの見つけ方、メモの仕方、ワークシートへの貼り方などを丁寧に指導することで、児童は情報活用の力をつけていくことができた。さらに、多くの「ひみつ」の中から伝えたい順を決め、情報の選択をして、1分間でペアの相手に伝えた。その過程で、どの「ひみつ」が自分にとって重要かの根拠が生まれ、思考を深めると考えた。

しかし、キーワードを選ぶ視点は「自分がひみつだと思い、伝えたいこと」としていたため、多くの語をキーワードとしている児童がいた。また、メモのポイントを助詞を省くことや記号を用いることとしていたが、文で書くことから離れられない児童もいた。今後、キーワードを選ぶ技能、メモをとる技能を磨いていくようにしたい。また、情報の選択においても、「ひみつ」を伝える順番の根拠に深まりが認められない児童が多く、なぜそれを伝えたいのかを立ち止まって考えさせるとよかった。

要約学習の活用

要約学習では、キーワードから図式化することに取り組み始めたところである。自分が選んだキーワードを付箋にメモする際に、矢印などを用い、図式化の力を活用できるようにした。「ビーバーのひみつをつたえよう」において、要約学習を取り入れながら学習していたことで、十分とは言えないまでも、その力を生かすことができた。

また、図式化を意識したメモをもとに、ペアの相手に、自分が選んだ動物の「ひみつ」を説明し、文章化することができるようにした。その際に、どの「ひみつ」から説明しようかと、「ひみつ①、②、③」と説明する順番に付箋メモに番号をつけた。「メモは、『は』とか『が』をとるけれど、話す時や文にするときには、復活させるんだね。」など、児童は図式化されたメモと話し方、書き方の関係を自分の言葉でつかむことができた。

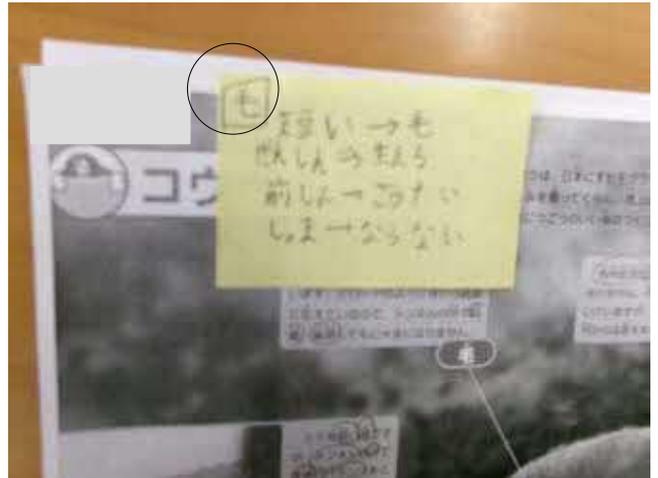
さらに、情報の選択の力をつけることをねらった。この段階では、「ひみつ」について精選されていないため、ペアの相手の意見も聞きながら、「ひみつ」ベスト3を選ばせたかった。そのため、話す時間を1分とし、質問タイムをとった。このことで、他者の視点でも「ひみつ」を考えることができた。また、「話す」「聞く」スキルとして、図式を指しながら時折相手を見て話す、聞くことも指導した。このスキルは継続して指導していきたい。

しかし、話す聞く力、書く力には個人差があるため、さらに身に付けていく必要がある。また、伝えたい思いが話し方、聞き方に大きく関わるため、技能面だけでなく、学習意欲の向上を図りたい。

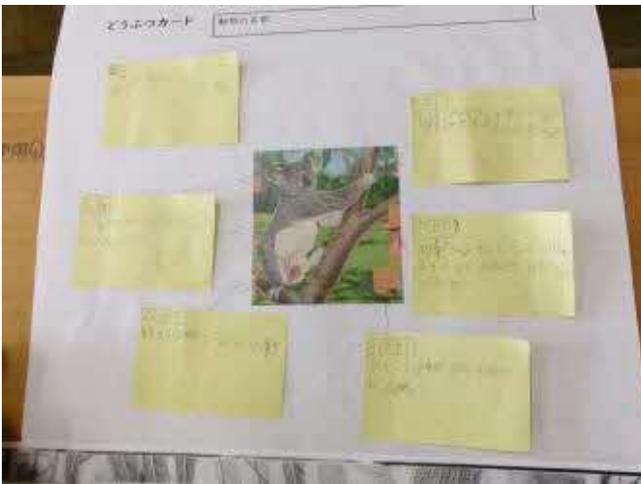
ひみつの順序(情報の精選)



キーワードを付箋メモに書く



付箋メモ



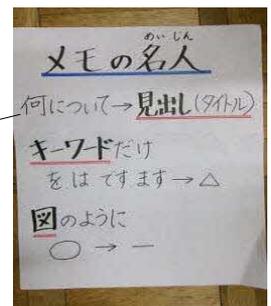
図式化をねらい付箋メモを貼ったワークシート



ワークシートを指さしながら説明



学習の見通しをもたせた板書



メモスキル



メモの貼り方

